

令和7年（2025）4月 入域観光客数概況（確定版）

88万2,600人
対前年（R6）同月比 +13万300人、+17.3%
～4月としては過去最高～

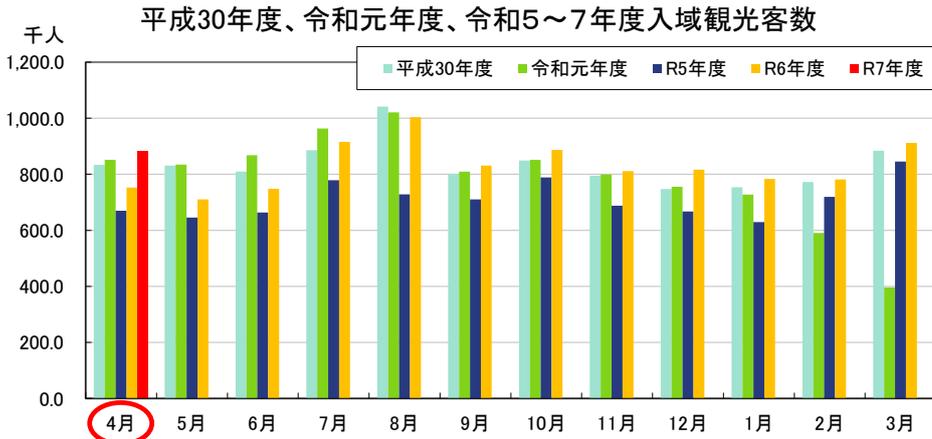
【更新履歴】①令和7年5月25日速報版公表
②令和7年7月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、7月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※R元年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※R元年度
国内客	620,900人	593,400人	+27,500人	+4.6%	70.3%	601,100人
空路	617,900人	588,100人	+29,800人	+5.1%	70.0%	596,100人
海路	3,000人	5,300人	△2,300人	△43.4%	0.3%	5,000人
外国客	261,700人	158,900人	+102,800人	+64.7%	29.7%	250,300人
空路	168,300人	107,500人	+60,800人	+56.6%	19.1%	148,400人
海路	93,400人	51,400人	+42,000人	+81.7%	10.6%	101,900人
合計	882,600人	752,300人	+130,300人	+17.3%	100.0%	851,400人

※外国客には、海路における乗務員等27,700人を含む。



国内客 入域状況

4月は、春休み及びゴールデンウィークの旅行需要に対する航空会社の増便、季節運航があったこと等から前年同月を上回った。
5月は、「第51回 那覇ハーリー」（5/3～5/5）等の県内イベントが開催されることやゴールデンウィークに係る航空会社による増便・臨時便等があること、国内・県内発着クルーズの寄港が多数予定されていることから好調に推移すると見込まれる。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	299,700人	286,200人	+13,500人	+4.7%	48.3%
関西方面	131,800人	127,800人	+4,000人	+3.1%	21.2%
福岡方面	77,200人	73,300人	+3,900人	+5.3%	12.4%
名古屋	54,100人	51,000人	+3,100人	+6.1%	8.7%
その他	58,100人	55,100人	+3,000人	+5.4%	9.4%
合計	620,900人	593,400人	+27,500人	+4.6%	100.0%

参考：国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	19,300	41%	12,100	49%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	12,000	25%	5,400	22%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,700	14%	2,600	11%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,500	3%	900	4%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	600	1%	500	2%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	7,100	15%	3,200	13%	
合計	47,200	100%	24,700	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
 ※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

4月は、航空路線において那覇－シンガポール路線(4月1日～)の増便、新石垣－仁川路線(4月3日～)の新規就航、新石垣－香港路線(4月3日～)のデイリー運航の再開があったことのほか、台湾・中国本土発着のクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年同月を上回った。
 5月以降については、新石垣－台北路線(5月28日～10月25日)の運航再開等があることに加え、台湾・中国本土・香港発着のクルーズ船の寄港が複数回予定されている等から好調に推移すると見込まれる。

- トピック ▶【台湾】チャイナエアラインは那覇－高雄路線(5月31日～)を週4便から週6便に増便予定
 ▶【中国本土】北京首都航空は那覇－杭州路線(6月21日～8月30日)を週2便で運航再開予定

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	96,500人	67,700人	+28,800人	+42.5%	36.9%
韓国	46,400人	27,400人	+19,000人	+69.3%	17.7%
中国本土	39,100人	16,000人	+23,100人	+144.4%	14.9%
香港	22,800人	13,700人	+9,100人	+66.4%	8.7%
アメリカ	6,000人	5,100人	+900人	+17.6%	2.3%
タイ	2,700人	1,900人	+800人	+42.1%	1.0%
シンガポール	2,800人	1,300人	+1,500人	+115.4%	1.1%
その他	45,400人	25,800人	+19,600人	+76.0%	17.3%
合計	261,700人	158,900人	+102,800人	+64.7%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等27,700人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	71,200人	51,900人	+37.2%	42.3%	25,300人	15,800人	+60.1%	27.1%
韓国	46,200人	27,400人	+68.6%	27.5%	200人	0人	皆増	0.2%
中国本土	15,000人	7,900人	+89.9%	8.9%	24,100人	8,100人	+197.5%	25.8%
香港	19,400人	10,800人	+79.6%	11.5%	3,400人	2,900人	+17.2%	3.6%
アメリカ	2,900人	1,800人	+61.1%	1.7%	3,100人	3,300人	△6.1%	3.3%
タイ	2,400人	1,900人	+26.3%	1.4%	300人	0人	皆増	0.3%
シンガポール	2,300人	1,200人	+91.7%	1.4%	500人	100人	+400.0%	0.5%
その他	8,900人	4,600人	+93.5%	5.3%	36,500人	21,200人	+72.2%	39.1%
合計	168,300人	107,500人	+56.6%	100.0%	93,400人	51,400人	+81.7%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等27,700人を含む。

外国客の地域構成比

